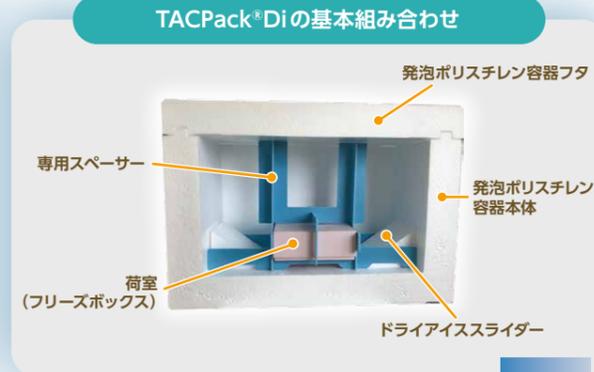


TACPack® Diシリーズ

Introduction of TACPack® Di series



TACPack® Diシリーズについて

- 荷物を容器内に収納し上部開口よりφ9mmのペレット状ドライアイス投入するとペレット状ドライアイスが適切に荷物を囲み、荷室内の温度を-70℃以下に維持する時間を計測したデータを取得しております。
- ラインアップ製品は荷室内の温度の推移を測定済みです。
- 専用スペーサーを使用することで容器内の荷物が固定され安定します。

ドライアイス充填方法



温度維持の仕組みとご使用になるドライアイスについて

温度維持の仕組み



ドライアイスが昇華する際、上部のドライアイスが荷物を囲むように移動する構造により、荷室内の温度を維持します。

ご使用になるドライアイスについて

ドライアイスはφ9mm以下のペレット状ドライアイスを使用してください。

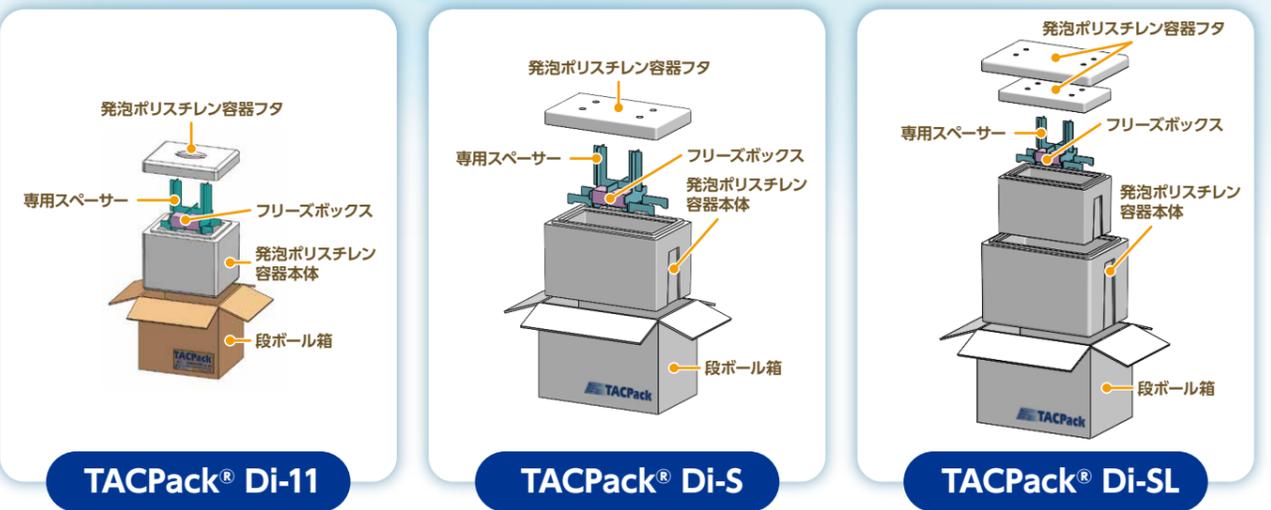


ドライアイス取扱上の注意

- 直接手でさわったり、口に入れないでください。凍傷になります。
- 自動車に持ち込む場合、運転手や乗客がいる場所に置かないでください。酸欠になります。
- 地下室や換気のない部屋で、使用しないでください。酸欠になります。

※掲載写真は容器仕様の代表例であり、一部表示などが変更になる場合があります。

パッケージ別構成図



対応温度帯 ※容器内の温度を、以下の各温度帯の範囲内に、保つことを保証するものではありません。

>-60℃以下

TACPack® Diシリーズ -60℃以下 ※下記表の維持時間については社内実験データの一例であり、保証値ではありません。

| 品名 | 外寸 W×D×H(mm) | 荷室 W×D×H(mm) | 重量(kg) ※ドライアイス含まず | 断熱容器 | 外装 | ドライアイス充填量 φ9mmドライアイス | 維持時間(h)/外気温度35℃ | |
|---------------|-----------------|-----------------------------|----------------------|------|------|-------------------------|-----------------|--------|
| | | | | | | | -70℃以下 | -75℃以下 |
| TACPack Di-11 | 395×330×385 | 100本用フリーズボックス 138×138×49 | 1.6 | EPS | 段ボール | 8.0kg | 約64h | 約55h |
| TACPack Di-S | 515×320×385 | 100本用フリーズボックス 138×138×49 | 2.3 | EPS | 段ボール | 10.0kg | 約81h | 約75h |
| TACPack Di-SL | 640×450×515 | 100本用フリーズボックス 138×138×49 | 5.0 | EPS | 段ボール | 10.0kg | 約134h | 約126h |

35℃環境下TACPack®Di荷室内温度測定グラフ

